令和6年度
ASEAN市場プロモーション　および
路線誘致について

海外・MICE事業部
海外プロモーション課
2024/07/04

チームメンバー紹介

ASEAN市場担当

富永　祐士
（とみなが　ゆうし）

照屋　悠香
（てるや　ゆか）

路線誘致担当

伊藤　敦美
（いとう　あつみ）

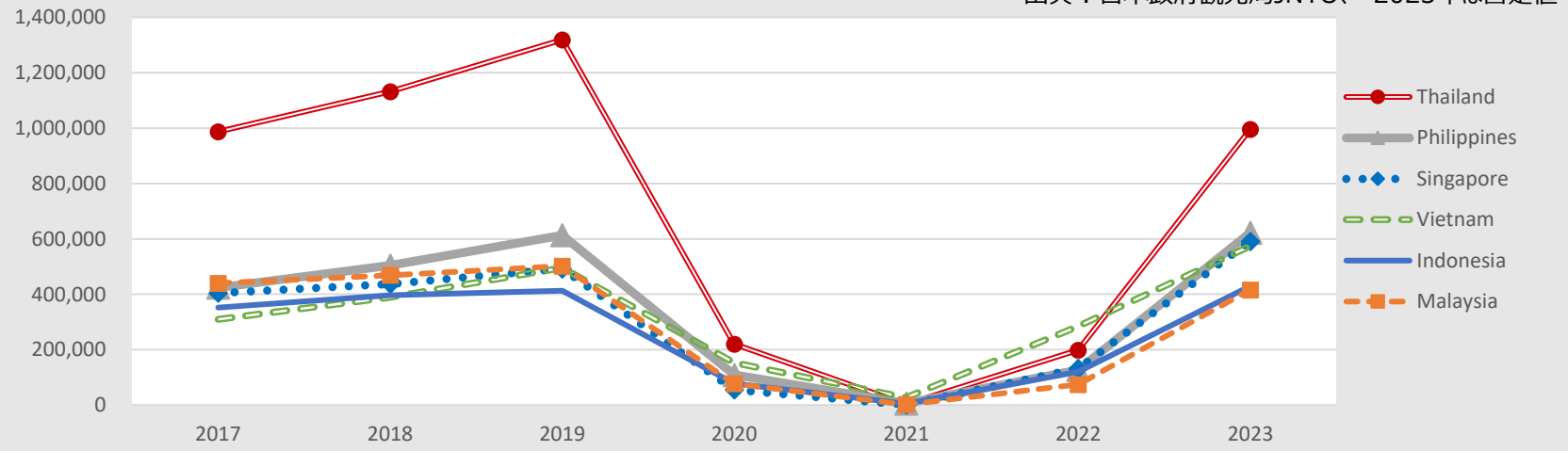
奥平　英子
（おくひら　ひでこ）

ASEAN市場の現状　主要国からの訪日外客数

タイ、マレーシア以外の主要ASEAN諸国からの2023年訪日客数は2019年レベルを超えており、2019年実績に比べ2023年外客数がフィリピンからは同等レベル、シンガポール、ベトナムは伸びが大きい。
まだ2019年レベルには回復していないものの、2019年、2023年ともにタイからの訪日客数が最も多い。

暦年	2017	2018	**2019**	2020	2021	2022	**2023**	vs2019
タイ	987,211	1,132,160	**1,318,977**	219,830	2,758	198,037	**995,558**	75.5%
フィリピン	424,121	503,976	**613,114**	109,110	5,625	126,842	**622,293**	101.5%
シンガポール	404,132	437,280	**492,252**	55,273	857	131,969	**591,267**	120.1%
ベトナム	308,898	389,005	**495,051**	152,559	26,586	284,113	**573,916**	115.9%
インドネシア	352,330	396,852	**412,779**	77,724	5,209	119,723	**429,382**	104.0%
マレーシア	439,548	468,360	**501,592**	76,573	1,831	74,095	**415,712**	82.9%
計	2,916,240	3,327,633	**3,833,765**	691,069	42,866	934,779	**3,628,128**	94.6%

出典：日本政府観光局JNTO、 2023年は暫定値

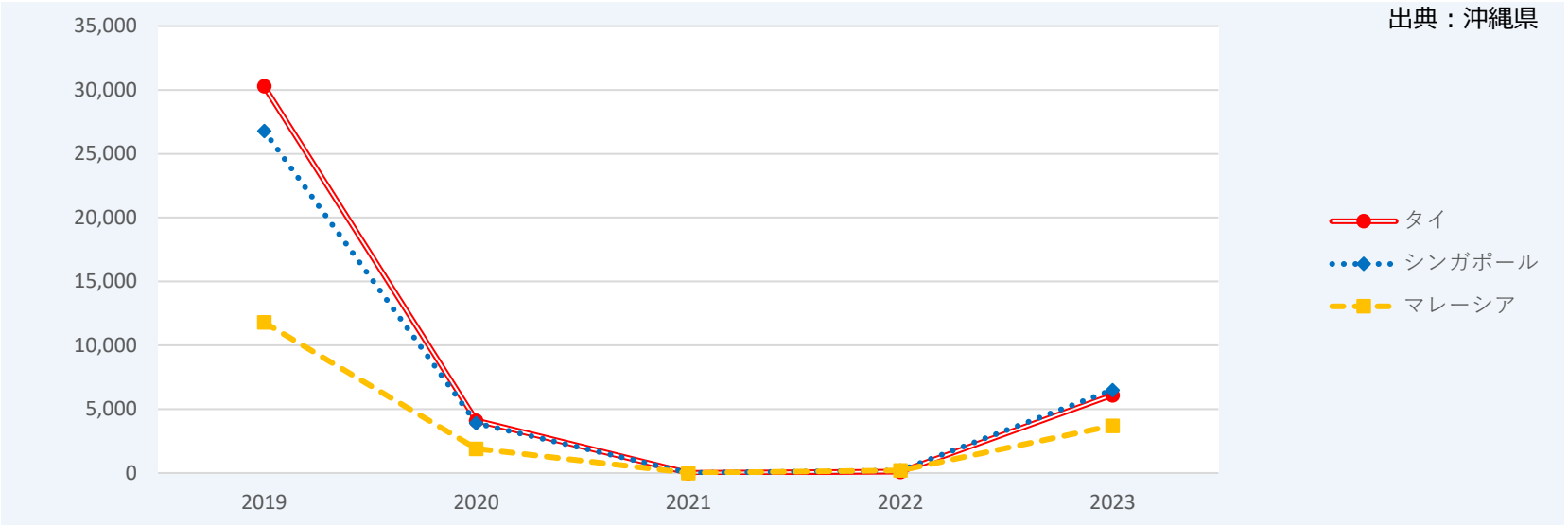


ASEAN市場の現状　沖縄間との航空路線がある主要3か国からの入域外客数

2023年訪日客数は2019年レベルの20～30%程度にとどまる。
2023年8月以降、マレーシア、シンガポール、タイの航空便の就航・復便したことにより、2024年外客数の増加に期待。

暦年	2019	2020	2021	2022	2023	vs2019	航空便
外国人総数	2,930,000	256,900	0	47,700	986,600	34%	
タイ	30,300	4,100	0	100	6,100	20%	2024年4月タイ・エアアジア 直行便就航
シンガポール	26,800	3,900	0	200	6,500	24%	2023年11月ジェットスター・アジア 直行便復便
マレーシア	11,800	1,900	0	200	3,700	31%	2023年8月バティックエア・マレーシア 台北経由便就航

出典：沖縄県

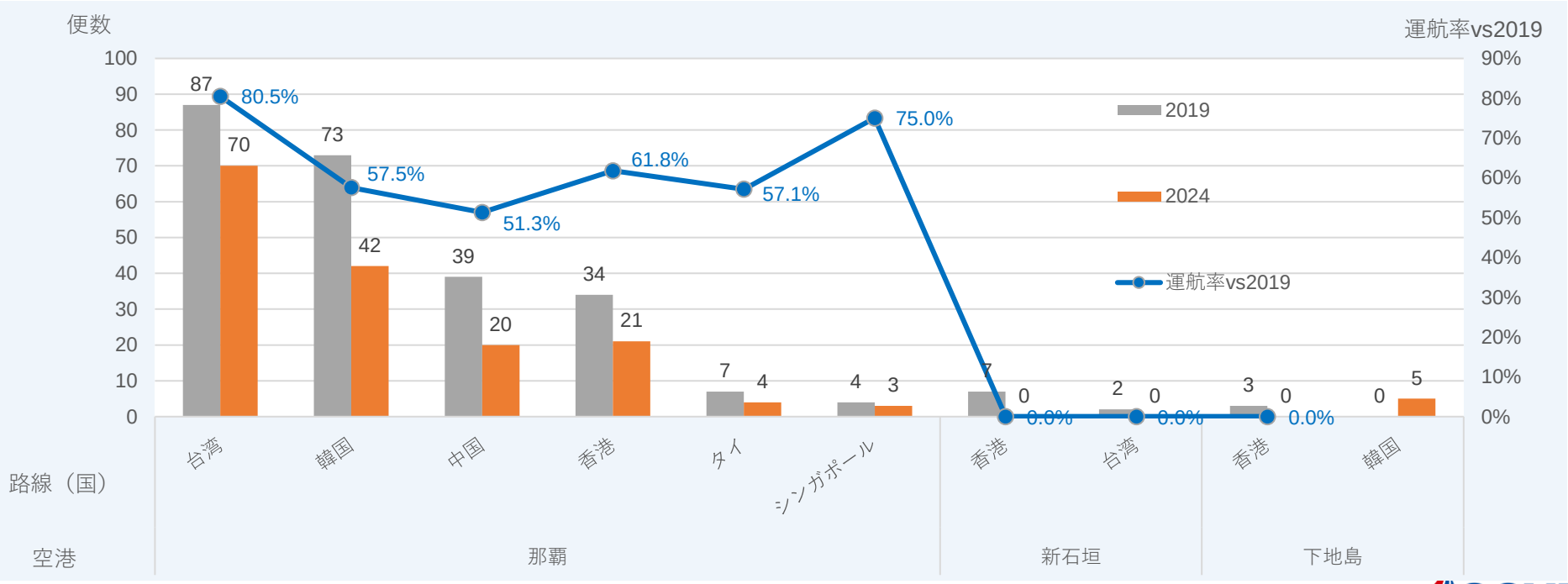


沖縄県乗り入れ国際航空路線の状況

直行便のみ。2019年7月現在と2024年5月現在での往復ベース（1往復を1カウント）での便数比較
コロナ禍前の水準には戻っていない

空港	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	那覇	新石垣	新石垣	下地島	下地島
路線（国）	台湾	韓国	中国	香港	タイ	シンガポール	香港	台湾	香港	韓国
2019	87	73	39	34	7	4	7	2	3	0
2024	70	42	20	21	4	3	0	0	0	5
運航率vs2019	80.5%	57.5%	51.3%	61.8%	57.1%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

OCVBまとめ



令和5年度主要3市場の概況と実施プロモーションおよび課題

市場	タイ	シンガポール	マレーシア
2024年7月現在の航空便	**タイ・エアアジア** ・バンコク（ドンムアン）＝那覇直行 週4（火・木・土・日）便 ・バンコク（ドンムアン）＝台北＝那覇 毎日1便	**ジェットスター・アジア** 那覇直行　週3（火・木・日）便	【マレーシア】**バティックエア・マレーシア** クアラルンプール＝台北＝那覇 週4（月・水・金・日）
2023年度の各市場訪沖需要状況	**JNTO　タイ市場訪日マーケティング施策によると** ・訪日未経験者多数だが、訪日経験者の7割がリピーターのため、新規訪日層の開拓とリピーターの再訪需要の拡大を目指す **2023年10月、2024年1月にバンコクで開催された旅行博にて** ・直行便復便時には再訪希望者多数 ・直行便未就航のため訪沖ツアー取扱なし	**JNTO調査　行ってみたい日本の都道府県の2位** （1位は北海道） ・沖縄は未訪問ながら行ってみたい人の割合が高い **JNTO　シンガポール市場訪日マーケティング施策によると** シンガポール国籍者の7割以上が訪日旅行経験あり **2023年8月、9月に開催された旅行博にて** ・訪沖経験者は多い印象 ・直行便復便前でコロナ禍後の情報が少ないため、ツアープランに新しい商業施設、アトラクションを取り入れられていない。	**JNTO　マレーシア市場訪日マーケティング施策によると** ・訪日未経験者が大部分のため従来からの人気のコンテンツを発信 **2023年9月にクアラルンプールで開催された旅行博にて** ・訪沖経験者はあまり多くない印象。 バティックエア・マレーシアの沖縄便があることで興味を示す
2023年度実施のプロモーション	タイ・エアアジアのバンコク直行便就航発表（2024年2月）にあわせて ➢ **タイ・エアアジアおよびタイ主要旅行会社を招へいし視察ツアー**を実施 ➢ **タイ旅行会社30社を対象に沖縄セミナー**を実施 **タイ語SNSでの情報発信・需要喚起**	ジェットスター・アジアの復便にあわせて ➢ **ジェットスター・アジアおよびシンガポールのメディア、インフルエンサーを招へいし視察ツアー**を実施 ➢ **ジェットスター・アジアとタイアップでウェブ/SNS宣伝** **シンガポールでの交通広告を実施**	（【マレーシア】航空会社とタイアップで旅行会社の招へいを企画したが、航空会社側事由により中止）
今後取り組むべき課題	➢ 航空定期便の運航の安定維持・増便 ➢ 訪沖未経験者むけの認知度向上施策 ➢ リピーター増加のための施策	➢ 航空定期便の増便 ➢ リピーターや沖縄の自然・文化等テーマ性をもった旅行者の増加のための施策	➢ 航空定期便の運航の安定維持 ➢ 訪沖未経験者むけの認知度向上施 ➢ 訪沖商品および訪沖旅行者の増加のための施策

令和6年度事業の課題と戦略および計画

市場・事業	タイ	シンガポール	他市場	航空路線誘致
今後取り組むべき課題	➢ 航空定期便の運航の安定維持・増便 ➢ 訪沖未経験者むけの認知度向上施策 ➢ リピーター増加のための施策	➢ 航空定期便の増便 ➢ リピーターや沖縄の自然・文化等テーマ性をもった旅行者の増加のための施策	➢ 航空定期便の運航の安定維持、新規就航 ➢ 訪沖未経験者むけの認知度向上施策 ➢ 訪沖商品および訪沖旅行者の増加のための施策	新規就航・増便の障壁 ➢ 空港グランドハンドリング、セキュリティ要員の不足 ➢ 航空燃料不足（石油元売りの供給減など）
事業の戦略	➢ 航空会社連携プロモーション ➢ ターゲット層に適切な招へい、商談会、旅行博出展等の実施	➢ 航空会社連携プロモーション ➢ ターゲット層に適切な招へい、商談会、旅行博出展等の実施	ターゲット層に適切な招へい、商談会、旅行博出展等の実施	沖縄県および空港運営会社、石垣市、宮古島市と連携した路線誘致のための調整や支援

市場	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
タイ	タイ・エアアジア連携需要喚起宣伝プロモーション			
	SNS発信（タイ語アカウント）			
シンガポール	ジェットスター・アジア連携プロモーション			
	SNS発信（英語共通アカウント）			
各市場共通	SNS発信（英語共通アカウント）			
	ターゲット施策　（招へい、JNTO主催商談会、旅行博出展　等）			
	路線誘致のための調整・支援			
出展予定旅行博		NATASシンガポール 8/16-18	FITタイ 11/8～10	TTE/フィリピン 日程未発 Routes Asia 3/25-27

事業の戦略　詳細①　タイ・エアアジア連携需要喚起宣伝プロモーション

訪沖需要を喚起する宣伝を航空会社と共同で制作し航空券購入を促すことで搭乗率を高め定期便運航を安定させる。また、訪沖旅客の増加を図る。
（2024年6月実施）

航空会社連携プロモーション

事業の戦略　詳細②　ターゲット施策（インバウンド国内旅行社招へい）

海外のお客様のための訪日旅行を手配する国内の旅行社を招へいし、訪沖旅行を推奨していただくための県内の視察ツアーを実施。あわせて被招へい者と県内事業者様との商談会・ネットワーキングイベントを実施。様々な市場の顧客基盤を持つ国内旅行社を対象にまとめて招へいすることで、効率的かつコストを押さえつつ多数の市場からの誘客が見込める。（2024年6月実施）

ターゲット層に適切な招へいの実施

旅行社	取り扱い地域
1	欧米・イギリス
2	東南アジア、ヨーロッパ、南アジア、その他
3	イギリス、フランス、アメリカ、 オーストラリア、東南アジア、東アジア
4	欧米豪、南米など
5	中東・欧米豪・アジア（東アジアを除く）
6	スペイン語圏（スペイン、南米）、 イギリス、デンマーク
7	欧米豪、特にイギリス、ドイツ、アメリカ

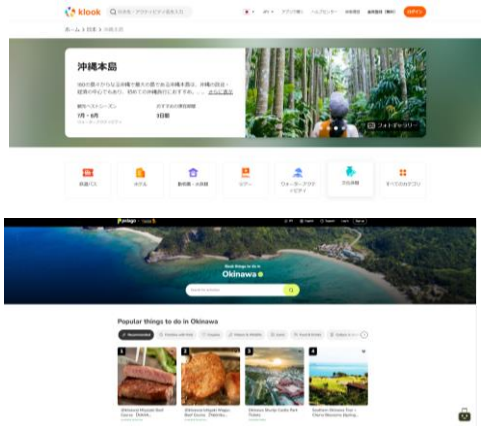
事業者様へのお知らせとお願い

OCVBサイトにて随時の募集情報をご確認ください。
また、海外からのお客様を受け入れるにあたり可能な限りのご協力をお願いいたします。

◆ 旅行博出展時の参加事業者様募集

https://www.ocvb.or.jp/topics/4325

- 旅費のご負担、旅行手配は事業者様にてお願いいたします。（通訳等手配も同様）
- 現地での参加が難しい場合も、リーフレット配布等につきご相談ください。
- 出展ブースに常時詰めていただく必要はありません。他ブースを視察したり、沖縄県ブースへの海外事業者からの問い合わせも多く、その場での商談実施も自由です。



シンガポールでの旅行博で問い合わせを受けた業者例↑

◆ 招へい時の

✓ 名刺交換会・商談会等のお知らせとご参加希望事業者様募集

https://www.ocvb.or.jp/topics/4332

✓ 受け入れ可能な事業者様募集（宿泊・チャーター車両など）

https://www.ocvb.or.jp/topics/4310

◆ OCVB職員によるホテルインスペクションのご協力のお願い

◆ 食事制限（ベジタリアン・ハラルなど）のあるお客様へのご対応のお願い

海外・MICE事業部
海外プロモーション課
ASEAN市場担当：asean@ocvb.or.jp
路線誘致担当　：shien@ocvb.or.jp